

令和6年度 第1回 港区区政会議【安心安全・まちづくり部会】 議事録

1 日 時 令和6年6月26日（水） 午後7時～

2 場 所 港区役所5階会議室

3 出席者（委 員）対面：北山委員、後藤委員、中西委員、西村委員
羽東委員、村田（烈）委員、山岸委員

（関係者）対面：港警察署 谷口氏

WEB：港消防署 牧野氏

（港区役所）対面：山口区長、磯村副区長、西堂協働まちづくり推進課長
細江エリア開発推進担当課長、五十嵐総合政策担当課
長、岡添エリア開発推進担当課長代理

4, 議 題（1）令和5年度 施策・事業の評価について

（2）「おもてなし防災」プロジェクトについて

（3）その他 区役所より説明

○岡添エリア開発推進担当課長代理 定刻になりましたので、始めさせて頂いてよろしいでしょうか。

皆さまこんばんは。ただいまより、令和 6 年度第 1 回港区区政会議安心安全・まちづくり部会を始めさせていただきます。私は、港区役所協働まちづくり推進課の岡添です。どうぞよろしく願いいたします。

すみません、ちょっと風邪ひいているので、聞き取りにくかったらご容赦ください。

港区区政会議につきましては、区政会議運営要綱の第 5 条の規定によりまして、3 つの部会を設けておりますが、本部会は、防災・防犯・まちづくりに関する専門的な意見交換を頂くため開催させて頂くものです。それでは会議に先立ちまして、山口区長からひと言ご挨拶申し上げます。

○山口区長 みなさんこんばんは。平日のお仕事やまた、ご家庭の用事でお忙しい時間にお集まりいただき本当にありがとうございます。今日は防災・防犯・地域コミュニティ・まちづくりについて議論いたします安心安全・まちづくり部会の令和 6 年度第 1 回目の開催となります。

委員の皆様からは、令和 5 年度の施策・事業の評価について、それから「おもてなし防災」プロジェクトという聞きなれない言葉が書いてあるんですけども、これについてご意見いただきたいと考えています。先日、ニュースにもなりましたので、ご存知の方もいるかもしれませんが、港区では、外国人観光客の避難誘導に対して、何かしなければならないという思いがすごく強くてですね、それで公民連携で、そういう「おもてなし防災」と名付けたプロジェクトを立ち上げたところです。なぜかといいますと、大阪・関西万博までもう 300 日を切っているわけですけども、今よりも多数、外国からのお客様が来られます。予想来場者数が約 2800 万人、うち 350 万人が外国から来られるという見込みになっています。

またですね、天保山客船ターミナルが、5 月に新たになりまして、大阪港へ寄港するクルーズ船が今年が 70 隻、来年が 100 隻来航するというので、とにかくたくさんの方の外国の方が、特に弁天町を通過する方、乗り換える方、また大阪港駅から海遊館またクルーズ船で泊まっています、ほんとに大きい船だと 6000 人乗ってたりするんですけども、そういった方たちの増加が見込まれるところです。一方私は、区長になって 3 年目ですけど、港区に来てからずっと南海トラフの事をやはり気にかけて、伝わる防災ということで、せつせつと地域の皆様にも色々お伝えし、またぼつぼつとネットで発信もしたりしてたんですけど、外国人の人に避難誘導しようと思ったら区民の皆さん全員が、自分の住んでる場所が

安全かどうか、またいざそうなったら何分で津波が来るか、どこに逃げたらいいか、それを知っていることが大前提になります。区民一人ひとりの方の命を守るためにも、このプロジェクトをきっかけに、「あっそうや、自分のことをちゃんと知ろう」と思ってもらう事がまず大前提ですので、海外の方だけを助けましょうなんていうことを言っているつもりではないのでご理解いただけたらなという風に思っています。

またですね、4月には弁天町駅前に港区土地区画整理記念・交流会館がオープンいたしました。もうすでに多くの方にご利用いただいております、図書館なんかは来館者数が倍になったという風に聞いています。また、弁天町駅 JRの方リニューアル進んでいますし、メトロの方もリニューアルをしております。こうしてどんどんと弁天町駅周辺のまちづくりビジョンを作りましたところで、大阪の西の玄関口にふさわしいまちづくりの取り組みを、今後も進めていきたいと思っています。みなさんから今のいろんな情報提供もしましたけれども、またいろんな説明を聞いていただいた上で、まずまちの声、みなさんの声、あと長く住んでいらっしゃる方、また最近来られた方、いろんな声があるかと思っておりますのでお届けいただけたらと思っています。主役は皆様ですので、皆様がぜひ全員発言して頂けることを願っています。よろしく願いいたします。

○岡添エリア開発推進担当課長代理 ありがとうございます。では本日の出席状況でございますが、委員の定数8名のところ、ただいま7名の方にご出席をいただいております。区政会議の運営の基本となる事項に関する、条例第7条の規定によりまして、定足数の2分の1以上を満たしておりますので、本会議が有効に成立していることを、ご報告いたします。次に本会議は公開としており、後日配付資料とともに、会議録を公表とすることとしております。会議録の作成のため録音させていただきますので、ご了承いただくとともに、発言の際には、マイクをご使用くださいますようお願いいたします。また、会場の様子は、インターネット港区 YouTube チャンネルで後日配信する予定です。区政会議のみえる化の推進として、全区的な取り組みですので、あわせてご理解ご協力頂きますようお願いいたします。

続きまして、本日の配付資料のご確認をさせていただきます。

お手元に本日の次第、次に資料一覧表、そして今回の部会の委員名簿、そして配席図、その次にクリップ止めしております4つの資料で、頭に「おもてなし防災」プロジェクト～“守る“という、おもてなし～と書いてある左上に、ホッチキス止めしてある2枚ものの資料、そのクリップ止めの中に、その後、「おもてなし防災マニュアル」という横のカラー刷りのもの、その後英語表記で「TUNAMI WARNING」と書いております津波避難啓発のポスター資料、そのあとに「大阪市防災アプリ」のチラシが入っております。そのクリップ

止めの後にですね、次には「港区エリア別活性化プラン」（具体的な取り組み更新案）という、これもホッチキス止めしております資料で、最後に区政会議で特にご意見を求めたい内容に対する委員からのご意見及び区役所の対応・考え方という横面の資料ですね、こちらのほう入ってございますでしょうか。過不足ございませんでしょうか。はい、ありがとうございます。また、先日事務局より、事前に送付させて頂きました資料につきましても、本日使用いたしまして議事を進めたいと考えておりますので、もし無いようなことがございましたら、お手を挙げていただけますでしょうか。大丈夫でしょうか。はいすみません。ありがとうございます。

では、議事につきましては、次第の通りでございますが、説明の方は、短めにさせて頂きまして、議論や質疑を長めにとって参りたいと考えておりますので、よろしく願いいたします。最後にすみません、オブザーバーとして参加いただいている関係先の皆様をご紹介させていただきます。港消防署様からは、前回に引き続き、牧野様にウェブでご参加いただいております。港警察署様からは、谷口様にお越しいただいております。よろしく願いいたします。

なお前回までは、淀川左岸水防事務組合、危機管理室、大阪港湾局より、オブザーバーのご参加をいただいておりますけれども、今回より議題や委員の皆様からの、事前のご意見に関わる関係先について、必要に応じてご参加して頂くことにしたいと考えてございますので、どうぞよろしく願いいたします。

それでは議事に移ります。ここからは、山岸議長に議事進行をお願いいたします。よろしく願いいたします。

○山岸部会議長 それではみなさまこんばんは。議長の山岸です。ここからは議長として、進行役を務めさせていただきます。皆様から積極的にご意見を頂き、活発な議論をしたいと思っておりますので、どうぞよろしく願いします。それでは早速ですが、議題1の「令和5年度施策・事業の評価」について、区役所より説明をお願いします。

○西堂協働まちづくり推進課長 はい、それでは私、協働まちづくり推進課長の西堂からご説明させていただきます。事前配付資料A、「令和5年度港区運営方針自己評価実施結果」をご覧ください。資料Aでございます。お手元大丈夫でしょうか。令和5年度港区運営方針と書いた資料になります。事前配付資料になっております。

はい、それでは事前に資料を配付させていただいており、お目通しいただいているかと思っておりますので、簡潔にご説明をさせていただきます。当部会でご意見いただく部分につきましては、資料1ページ目の経営課題1、「区民主体のまちづくり」、資料2ページ目の経営課題2、「安全・安心・快適なまちづくり」、資料3ページ目の経営課題5、「訪れたい魅

力と活気あふれるまちづくり」の3つの項目になります。

資料1 ページ目をご覧ください。経営課題1、「区民主体のまちづくり」につきましては、主な戦略として、「人と人が出会いつながる機会の提供」や、「地域活動協議会の自律的運営の支援」などに取り組んできました。これらの取り組みに対して、2つのアウトカム指標を設定し、その達成状況、定量評価につきましては、いずれも未達成となっております。

資料2 ページ目をご覧ください。経営課題2、「安全・安心・快適なまちづくり」につきましては、主な戦略として、「地域防災力の強化」、「防犯対策の強化等」に取り組んできました。これらの取り組みに対して、2つのアウトカム指標を設定し、その達成状況につきましては、いずれも未達成となりました。

続きまして、資料3 ページ目をご覧ください。経営課題5「訪れたい魅力と活気あふれるまちづくり」につきましては、主な戦略として、「港区エリア別活性化プランに基づく区内3エリアの特性に応じた、中長期的なまちづくりの推進」などに取り組んできました。これらの取り組みに対して、1つのアウトカム指標を設定し、その達成状況につきましては未達成となりました。

資料4 ページ目をご覧ください。先ほど説明した3つの経営課題の主な戦略やアウトカム指標の達成状況などに対する自己評価です。

経営課題1の「区民主体のまちづくり」につきましては、コロナにより地域コミュニティも影響を受け、現在も交流や活動が十分ではなく、自律的に地域活動が再開・運営されているものの認知度が十分でないと考えられます。地域活動の再開支援や地域活動協議会の認知度向上の広報活動にも、継続的に取り組み、地域活動協議会と連携しながら身近で豊かなコミュニティづくりに取り組みます。

経営課題2の「安全・安心・快適なまちづくり」につきましては、防災面では地域の防災対策の強化を図りましたが、地域において互いに助けあう「共助」が、地域に浸透しているとは言い難いため、引き続き共助の取り組みの共助の大切さを訴えつつ、防災活動への参加者を増やす取り組みを支援していきます。防犯面では、防犯対策の強化に取り組んできましたが、自転車盗などの抑止に繋がっていないため、引き続き警察と連携し、区民に対して防犯啓発を行うなど、街頭犯罪を抑止するための取り組みを継続していきます。

続きまして、経営課題5の「訪れたい魅力と活気あふれるまちづくり」につきましては、港区は潜在的な魅力はあるが、既存施設の魅力向上や、個性を生み出す新たな魅力創造に欠けていると判断され、イベントなどの短期的展開のみでは、恒常的な魅力向上に繋がりにくいいため、エリア別活性化プランで定めたエリアごとの魅力向上に向けた基本方針の各

取り組みの方向性を基に、持続可能なまちづくりの推進と魅力向上に取り組んでいきます。

簡単ですが、議題1の説明は以上となります。よろしくお願いいたします。

○山岸部会議長 ありがとうございます。それでは、今の意見、今のご説明に何か意見などございませんでしょうか。私自身も、すべてコロナのせいにするのはあれなんですけども、この自己評価のところをご説明頂いたときに、本当にコロナウイルスで人と人との関わりがあったらいけないですとかね、積極的に対面を避けましょうっていう事があってから、老け込んだと言ひ方したら変なんですけども自分自身もあまり外に出て人とお話しする機会も、ちょっと少なくなっちゃったら、本当にコミュニティが凄く小さくなったな、自分自身も外に出ていく機会も減っちゃったなと思うところなんですけども、皆さんは、どんな感じをもたれましたでしょうか。令和5年度のいろんな活動に対するアウトカムということで、色んな評価を今区役所の方から聞いていただいたんですけども、何かご意見ある方、別に難しい話でなくても結構なんですけども、今私が感じたことを少し話させて頂きましたけども、そんなお話でも結構です。ありがとうございます。

○北山委員 すいません、港区地域自立支援協議会の北山です。今の話で私どもの障がい者基幹相談支援センターのほうでも、新型コロナウイルスの影響で相談方法っていうのが変わってきてるといふか、毎年度件数を計上するんですけど、その時に訪問とか通所してくださる方々の件数っていうのが若干数減っていて、逆にメールとかの相談のほうで、前々年度34件が前年度123件っていう数字ですごい上がって、ちょっとびっくりしたっていうような経過もあるぐらいなので、確かにこの感染による影響っていうのは、当センターの方でものすごく感じているっていうのは凄くありました。

あとまた全然別の話になるんですけど、今後の方針として書いてもらってる今後そんなおっきな船が来て沢山お客さんが来てくれはるのに、ここをこう逃す訳にはいかないという“なにわ魂”もあると思うんですけど、ただ私がちらっと思ったのがですね、港区の中でホテルとかがあんまり少ないじゃないですか。なんか泊まってもらうところ、おっきいところはありますけど、スッと泊まって港の所で宿泊できるような所って結構少ないので、なんかそれもすごい惜しい気がしてて、いろんな形で宿泊ってできるような形ってあるのかもしれないんですけど、空き家の事だったりとか色々あるので、そんなのを活用して、リノベーションして泊まれるようなところがあれば、自分が旅行しててもそこに泊まってその周辺で買い物をどうしてもするので、そんなことも考えたら一ついいのかなと思ったりしました。はい、すいません。

○山岸議長 ありがとうございます。私も自分の地域ではないんですけども、ちょうど朝潮橋の駅から自宅まで帰るときに、民泊って言うていいのかわからないんですけど、リノベ-

ションした素敵な感じで、宿泊するところは少しずつですけれどもあるのかなと思ってます。でも、今おっしゃっていただいたみたいに、大きな施設、大きな船が停まったり、また万博に向けてたくさん港区に泊まっていただくという方向けにはまだ少ないから、これからもそういうところが出来ていけばいいかなと思います。

他にどなたか、どんなご意見でも結構ですのでせっかくなので。もし無いようでしたら、また後程伺わせていただけたら嬉しいなと思います。では、議題1については以上でございます。

では続きまして、気になる内容ではありますけども、議題2のおもてなし防災のプロジェクトについて区役所より説明をお願いいたします。

○西堂協働まちづくり推進課長 はい、それでは議題2「おもてなし防災」プロジェクトについて、当日配付資料「「おもてなし防災」プロジェクト～“守る”という、おもてなし～」をご覧ください。お手元大丈夫でしょうか。

今月の17日の月曜日になりますが、被災地の復興支援を行っている、一般社団法人 FUKKO DESIGN という社団法人と、広告会社の株式会社 TBWA HAKUHODO という2社と連携協定を結びまして、「おもてなし防災」プロジェクト、というものを立ち上げました。来年4月の大阪関西万博開催を機に、多くの外国人観光客の来阪が予想されます。町中の案内につきましては、外国語表記は増えているものの防災に関する表記というものは、十分とは言えない状況でございます。特に、南海トラフ巨大地震が発生した場合、港区には1メートルを超える津波が、約114分で到達すると想定されておりまして、地理に詳しくなく、かつ日本語が分からない外国人の観光客の避難誘導というものが大きな課題となっております。本プロジェクトでは、連携先の FUKKO DESIGN や、TBWA HAKUHODO から津波避難誘導に資する、情報発信の手法ですとか、ツールの提案を受けまして外国人観光客に対する、効果的な防災意識の啓発や適切な避難誘導に寄与することを目的として、「おもてなし防災」の名のもと、様々な取組みを進めていきます。

2ページ目以降にはマニュアルの作成や配布、ポスター、フライヤーの作成、掲示配架など具体的な取組みについて記載をしています。また、Webサイト、X（旧ツイッター）アカウントも開設しておりますので是非ご覧いただきまして、お知り合いのかたにも広めて頂ければと思っております。また別途ですね、港区版の事業者の方向けの「おもてなし防災」マニュアルと津波避難啓発ポスター2つですね、お手元のほうに添付をさせていただいております。この資料につきましては、Webサイトからダウンロードできるようになっておりまして、どなたでも自由にご活用いただけるようになっております。こういったポスターですとか、実際に何かあったときにですね、「おもてなし防災」マニュアルを手を取っ

ていただいて、ご自身で外国語をなかなかこう話せない方も沢山いらっしゃると思いますので、これを手に取ってですね、指さしをしながらですね外国人の観光客の方ですとかそういう方がいらっしゃれば避難誘導をということで、こういったマニュアルを整備をしております。

令和5年度に実施しました区民モニターアンケートでは、津波で避難が必要となった場合、約2割の区民の方が、避難場所を決めていないといった、そういった結果も出ております。委員の皆様で、まだ決めていないという方がいらっしゃいましたら、いざという時にスムーズに避難できるよう避難場所をあらかじめ決めておいていただくとともに、ご家族やお知り合いの方にも、避難場所を決めておくことをお伝えいただければという風に思っております。また、タイムリーに防災関連情報を収集していただきますよう本日資料としてお配りしている大阪市防災アプリを、ご自身ですとかご家族、お知り合いの方にもインストールしていただくとともに、特にお知り合いの方で外国人の方が居られましたらこの防災アプリ多言語対応もしておりますので、是非ご案内いただきましてインストールを促していただければと思っております。説明は簡単ですが議題2は以上になります。よろしく申し上げます。

○山岸議長 ありがとうございます。では、こちらの「おもてなし防災」について何かご意見のある方いらっしゃいますでしょうか。私もはじめ、この議題を見させていただいた時に、「おもてなし防災」かと思って、自分はどこまで出来るかなと思ってちょっと不安にも思ってたんですけども、先ほど区長さんがまずは自分がね、自分とか周りの地域の皆さんが、よく自分が逃げることで、そういう事をよく分かったうえでと言いますか、その啓発って言いますか、自分自身もよくね、分かっておいて、それを外国の方にもお伝えして一緒に逃げるじゃないですけども、そういうかたちでまずは自分がしっかり分かってないといけいけないので、そのことも勉強になるといいますか、そういう事も出来ていいことだなど思いました。もちろん明るい時間帯でしたら、駅の方とか、イベント会場の方が、率先していろんな形で、逃げていくんですよ、こういう風なところにビルがあります、っていうのは指示していただけたらと思うんですけども、そういう時間帯でないとき、こういうのがあったらこれで私もあまり喋れませんが、指し示しながら自分が逃げよう避難しようと思ってるビルに、一緒に行きましょうじゃないですけど、そういう小さなところから考えていても良いのかなとは思っております。もっとこういう風な事も出来るよっていうご意見とかでも結構なんですけども、もしいいアイデアですとか、いや、これはちょっと違うよってことがありましたら、今ご意見お聞かせて頂ければ嬉しいなと思っております。いかがでしょうか。

どうぞ、ではよろしく申し上げます。

○村田委員 このおもてなし防災プロジェクトの内容で、一般社団法人 FUKKO DESIGN さんと HAKUHODO さんがやってると思うんですけども、実際、避難誘導に寄与することを目的として「おもてなし防災」の名のもとに取り組みを展開していくってことなんですけど、実際有事が起きたときあるじゃないですか、訓練みたいなのはしますか。想定して。

○西堂協働まちづくり推進課長 一般の住民の方を含めてっていうのは今の所は、そういう訓練は想定をしておりませんが、事業者の方、飲食店とかサービス業を営んでおられる方にですね、是非このツールを手にとっていただいて、いざ津波が来るとかってなったときにこのツールを使って、どういう風に自分がそういう外国人のお客様ですとかに対して、アプローチできるか、言葉をかけてあげられるかってところは、是非考えて頂けたらなというふうに思っております。これからですね、そういう協力をいただける方をよく募りましてですね、是非このツール、マニュアルもホームページからもダウンロードできますので、自由に使えますので、是非これを手にとっていただいて、自分たち、もし自分自身の身を守ることが第一なんですけれども、その次にですね、そういった全く地震とか津波とか、そういう災害、自然災害を体験されていない外国人の方にこれを使って、ぜひ何かあった時にそういう誘導をしていただけるような、そういう事をご協力いただければというふうに思っております。

○山口区長 ちょっと補足します。すいません。まあ大前提として、もちろんこれ始める前に海遊館さんとか、大阪文化館・天保山、前のサントリーミュージアムの運営事業者さんと、あとホテルシーガルさんと港湾局。クルーズ船はやっぱり止まりますので、クルーズ船の着港というか、港に入るのを受け入れている港湾局と水上消防さんと顔を合わせて打ち合わせはしています。いざとなったらどうするとか、それぞれどんな計画を持っていますかと。それに応じて、いや、そこは行かれませんかとかそっちに誘導したら大変ですよ、みたいなことは意見交換をして、あとは NHK 大阪さんが入ってくれて、「港区防災これだけは」というツールも作ってもらったんです。今日、ちょっとお配りはしてないですけど。だからいざとなったら観光客、日本人もいっぱい居ますので。土地勘がない日本の方もいるので、パッと出せるものはまず作ったっていうところなんです。実際に避難誘導のシミュレーションは机上ではちょっとやろうということで、大学の先生でと、いっぱいね、クルーズ船から何人、ピークの時ですね、一番怖いのは、万博の時に人数がものすごく増えると言われているので、その状態での NHK と大学の先生一緒になって今ちょっと考えて頂いて。あとはやっぱり実際やりたいのはやりたいです。いくつかの事業所さんと、もう何月何日何時に起きた設定でやりたい。で、一箇所まず、弁天町では絶対やろうと思っ

ていまして。JR 当然ですけど、JR、メトロ、駅も建て替わって、動線も変わる、交流会館もありますし、そこはやりましょうと。万博までにとりあえず一旦シミュレーションしたいですね。って言っているのと、あとは、やっぱり大阪港もやっておきたいと思ってます。

○村田委員 まあ、できたらやっていただければ、何て言うたらいいですかね、やっぱり紙見ただけでは実際分かんないですよ。どこに逃げなあかんのかなとか。例えば、年寄りも居てるし、身体障がい者の人も居てるし、外国人も居てるしっていうので、できたら弁天町と大阪港はやっぱりホテル多いし、外国人多いし、一回そういうのなんかできれば、イベントとしてできればいいかなと思ってます。

○山口区長 ありがとうございます。ちょっとだけ補足すると、これをやり出した時に、まずクルーズ船ってどんな風な防災の、呼びかけ、次に泊まる港が地震来たら津波きますよ。なんていう話ってしているんですかね？って言ったら、旅気分を損ねるからしていませんよ、と。実際すごくその辺りが今旅行でウキウキで来ている海遊館周りに居てる外国人の観光客に急にメッセージを出して、大混乱起こる可能性もあるので、なかなかそのリアルに外国の方を入れた訓練がいかにかできるのかとかも、ちょっと他都市の事例とかも見てるんですけど、なかなか難しいんですよ。

○村田委員 まず住まわれている人

○山口区長 まず、そうだと。住んでいる人と、あと、そうですね、外国人の方で、住んでいる方、何人か結構いてまして、築港の方には。一回その方たちとも意見交換させてもらったんです。通訳入れていただいて。そしたら、例えば、イギリスの方だったと思うんですよ。地震も津波も知らない経験全くない、台風すらあまり来ないみたいな方がいらっしやったりとか。あとはいわゆる携帯用のトイレですね。水止まったらこれ使わなあかんのですよ、備えてくださいって言って、水入れてコップに入れて固まるの見てすごくびっくりしてて。これどこに売ってるんだ、みたいな話になったり。やっぱり全然伝わってないという。まず住民の方に伝える、住んでいる外国人の方にも伝えるのも大事なその方たちとの訓練とかもやっぱり視野に入れていいかなというふうに思います。ありがとうございます。ぜひやりたいなと思っています。

○山岸議長 ありがとうございます。では他にどなたかございませんでしょうか。

○西村副議長 先ほど宿泊の施設の中で民泊がちらほらとってというお話もお伺いしたんですけど、民泊の場合って、スタッフがないこと多いんですよ。で、そういうところにどのように啓発していくんだらうかっていうところが少し気になったのと、あと八幡屋界限ですと、技能実習生が、多分寮？多分中小企業とかが多くて、製造業とか建設業とかで、ベトナム系とかアジア系の人たちが結構住んでるのかなっていう寮とおぼしき建物も何軒か

あるんですけど。それこそ、その子たちに誰が有事の際伝えるのか、その会社の社長が伝えるのかな。どうするのか。言葉どうするのか。なっているところがちょっと気になったので。その辺りも数としてどれぐらい民泊が区内にあるのか。把握はされてるのかなとか、そういう外国人の寮的なものがどれぐらい区内にあるのかなとか、多分あれは許認可取ってないと思うんで、数の把握難しいと思うんですけど、なんかその辺りも含めてやっていくことなのかなとちょっと思いました。

○西堂協働まちづくり推進課長 ありがとうございます。あの、民泊ですとかそういった会社ですとか、そういう外国人向けの寮がどれぐらいあるかというのはちょっと正直、正確な数は把握できておりません。民泊については、大阪市への登録なので、正規で登録されている数は場所を含めて把握ができますので、そういったところですか、先ほどの寮とおぼしきようなそういう施設というところへのちょっとまあアプローチも何か検討したいなと思っております。ご意見ありがとうございます。

○西村副議長 うちが外国人向けのシェアハウスと建物を管理してるんで。ふっと思い出して、その時誰が言うんやろうと。シェアハウス運営する会社がやるのか。でも近いの僕なんで僕が走るしかないかなとは思ってるんですけど、その時これあると助かるなとちょっと思っ。

○西堂協働まちづくり推進課長 ありがとうございます。

○山岸議長 ありがとうございます。私も近くに最近越してこられた中国の方とかいっちゃうので、いざという時はこれを指し示して、一緒に逃げましょって話ができるなというのをちょっといいなと思って見させてもらいました。それと、先ほど言いかかってたのは、この大阪市の防災アプリって皆さん入れられてますでしょうか？私も4月か5月くらい最近ちょっと入れさせてもらったんですけども、入れな入れなと思いつつながら、なかなか入れてなかったんですけども、この気象情報も結構ちゃんと送って来ていただけるのでいいなと思っておりますので、ぜひ委員の皆さんこれから入れたいなという方は、ぜひぜひ入れられたらいいかなと、おすすめでございます。それでは次の議題に移らせていただきます。では本日、資料配付がありました「港区エリア別活性化プラン、(具体的な取り組み更新案)」と「区政会議で、特にご意見も求めたい内容に対する議員からのご意見および区役所の対応、考え方」について、あと議題3その他として、区役所より説明の方お願いしたいと思います。

○細江エリア開発推進担当課長 エリア開発室推進担当課長の細江です。まず、その他の部分で今日配付させていただいてます「港区エリア別活性化プラン」の具体的方針案の資料の方を説明させていただきます。「港区エリア別活性化プラン」につきましては、令和3

年4月に、2025年の大阪万博開催決定を契機として、港区の持続可能なまちづくりを推進することを目的として、港区の弁天町、朝潮橋、大阪港という大阪メトロの三つの駅を中心とした特色があるまちづくりを進めていくということで、策定してきたものになります。今回更新案ということではあるんですけども、具体的な取組の方向性とか、大きな骨格のところは特に変えてはないんですけども、例えば資料の3ページで、「取り組みの方向性の港区土地地区画整理記念・交流会館を拠点にしたまちづくりの推進」というところですけども、これはこれまで、仮称という形で、令和6年3月の完成に向けた表現になっていましたので、今回整備が完了した時点修正と、あとは交流会館を拠点としたまちづくりの推進として、今後は完成した施設をどう活用していくかというところの表現に改めたところがございます。それ以外の部分は基本的には、令和6年度までの取り組みの方向性を定めており、令和7年の万博の開催のとき、進捗状況の検証と令和8年度以降の取り組みについても、この今年度、来年度、2ヶ年に分けてこの3つのエリアのまちづくりの方向性も改めて区政委員の皆様はじめ区民の皆様からいろいろとご意見もいただきながら、この内容の更新に取り組みでいきたいなと考えているところです。このプランにつきましてはいろいろなまちの課題、まちの取り組みすべてを網羅できてるわけではないかと思うんですけども、特にハード的なまちづくりのところ、区役所としてもいろいろな大阪市の部局と連携して取り組むべき必要があるものであるとか、また特にここはしっかり取り組んでほしいというところをプランに記載することで、こういう区政会議の場とかで、進捗状況とかも含めて確認できるツールとして、双方向で皆さんと一緒に作っていくプランにしたいなと思っていますので、今日のこの区政会議の中でも、ここどうなっているの？とか、こういう取り組みやっぱりまだ必要じゃないの？とか、そういった議論の取っ掛かりとして、うまく一緒にこのプランを使っていけたらなと思っています。個々の説明は時間の関係もあると思いますので、割愛したいと思うんですけども、今日の議論の中でも少し意見とか頂戴いただけたら非常にありがたく存じます。

エリア別活性化プランの説明につきましては、ひとまず以上とさせていただきます。

続いて、事前の質問に対する分も引き続き説明させてもらってよろしいでしょうか。

○山岸議長 はい、お願いします。

○細江エリア開発推進担当課長 それでは引き続きまして、「区政会議で特に意見を求めたい内容に対する委員会のご意見及び区役所の対応、考え方」につきまして、引き続き説明させていただきます。

こちらはエリア別活性化プランにも関わる内容かとも思うんですけども、弁天町の市岡商業高校の跡地の活用、開発アイデアについてということで、事前にご意見をいただいたと

ころです。委員からのご意見の要旨としましては、市岡商業高校跡地につきましては、皆さんもご承知かと思えますけれども、交通の結節点であり非常に交通の利便性の高い港区の中でも玄関口といえる弁天町にある市岡商業高校跡地の開発として観光バスの待ち合わせとかバスターミナルとしての活用をしてはどうか、といったご意見をいただいたところです。そういうバスターミナル的な活用につきまして、区の考え方としましては、昨年、弁天町駅周辺まちづくりビジョンを区でまとめてきたところではありますが、この市岡商業高校跡地につきましては、ビジョンの中で、国際拠点ベイエリアとの連携強化や地域交流拠点の形成強化に向けた民間事業者への活用を目指すこととしているところです。このビジョンを作る前から、区民の皆様からもいろいろな活用アイデアをいただいているところで、例えば子どもたちが走り回る空間であるとか、津波避難施設や備蓄倉庫の充実、保育所などの子育て支援施設、開発効果を周辺に波及させる起爆剤となる様な活用などご意見をいただいたところですけれども、現在、こういったご意見も踏まえまして、民間事業者の方でこういった開発可能かといったヒアリングも重ねて、跡地の活用に向けた検討を進めているところでございます。

今回いただきました意見につきましても、弁天町の交通結節部としての機能、さらにバスターミナルとして有効であると存じますけれども、民間事業者による開発として成立するかといったところは未知数のところもありますので、今後、民間事業者に依頼する機会など、そういった機会もありますので、そういったときにバスターミナルの活用とかも可能だとかそういったところもヒアリングの中では聞いていけたらと思っておるところでございます。区の考え方としては以上となります。よろしく申し上げます。

○山岸部会議長 ありがとうございます。では今の内容、説明、あと、いろんなご意見を伺いたいんですけども、これからこういう風になったらいいなという希望ですとか、ちょっとこういうことを不安に思ってますっていう、そういうご意見でも結構ですので、伺わせていただいたら嬉しいなと思います。きっと、そういうちょっとしたことから、いろんなアイデアが膨らんでいっていい方向に進んでいくのではないのでしょうかといつも思っております。私自身も道の駅にしたらいんじゃないかと色々思っているところです。

○山岸部会議長 区政会議のご意見でも結構ですし、その前の港区のエリア別活性化プランの事で、ご質問等ございましたら伺いたいなと思います。

○後藤委員 はい、すいません。築港地区の地域活動協議会の青少年部長の後藤と申します。防災防犯の委員もやっております。定期的に、会議っていうか集まっているいろんな事をこう考えてるんですけども。地域の人にね、まず備蓄品の話なんです。備蓄品、築港小学校で実際に見てきて、こことこんだけあるんですよという色々ね見学を実際に行ってもらうん

ですが。で、一応待遇を含めてですね、300人ぐらいの待遇という風になってるらしいんですが。あの備蓄品に到底いけるのかな。トイレなんかでもね、実際何人の人がトイレ、水洗とか、地震とかあったらトイレ使えませんか、一切。そしたら、使うなって言って止めて、それでビニールひいてっていう対応しなあきませんか。で、またそれに対して小学校で、例えば300人の人がいたら、トイレ、そのトイレ自身も何日もその全然もたない数ですわ。これでは到底そういうような、何百人かの人を対応してね、やれるような量じゃないという風に私は思うんですよ。ですんで、そのへんの対応っていうのは、例えばここにあったとしてもですね実際地震があったら、取りにこれんのかって、車も使えない、その時に津波があるかもしれない、どうか分からないですけど、そういうような時はそこにはないとかかんわけですよ。で、それで地域のものが、鍵を持ってて、鍵がここでこうや言うて対応とかね、いろんな無線機とか、そのへんの対応とかでも色々な訓練とかもやるんですけども。で、実際見てもらってもやっぱりそういう意見が多いし、私個人で見ても簡易トイレの少なさ、それから1回で何枚もビニールシートがいりますよね。そのシートが、トイレって1日1回しか行かないですか、そんなこと無いですよ。とてつもなくないですよ。そしたらそのトイレの、どんどん溜まっていったものはどういう風に対応するんか。そのでていった状態で汚物をほっとく訳にもいきませんし、そういういようなところっていうのは、よく考えておかないといけないとかという風には思いました。はい、以上です。

○西堂協働まちづくり推進課長 ご意見ありがとうございます。

備蓄品の配備基準につきましては、一応これ、あの大阪市でも基準がございまして、各避難所の想定数の3分の2の人数を上限として、各地域で必要とする数を、区役所及び避難所に配布しております。残りをですね、調整用として地区備品拠点に配備ということで、大阪市にいくつかそういった地区拠点があるんですけどそこに配布をしてですね一応避難所想定数の備蓄食料ですとか飲料水等は一応配備をしております。ただ、あの委員おっしゃる通り、それが本当に届けられるインフラがちゃんと整っているのか、ちゃんと届けられるのかっていったところは、正直災害の規模によって異なってまいります。

また、トイレにつきましては、今回の市会の補正予算でもですね、トイレにつきましては追加で補正予算を組みまして、大阪市内でちょっと配備できるようになってことで、新たにちょっと購入するといった、そういう動きもございます。

また環境事業センター、環境局のほうでもですね、これは各避難所に1つずつにはなるんですけど、災害用の簡易トイレですね、ちゃんとあの小屋みたいな、覆われてるような、そういうトイレというのを、地域からの要請に基づいてですね、区役所が受けて、区役所

から環境事業センターのほうへ、どこどこの避難所でそういう要請があるから持って行ってくれということで、これは今時点では各避難所1個ずつにはなるんですけども、そういったものも対応できるようになっております。いずれにしましても、本当に食料とか、ほんまにこれで足りるのかっていった、本当に疑問というか、思っておられるというのはそれで分かっております。ので、そこは行政としても出来る限り備えはしますけれども、やはり自助というところで、それぞれ区民の方もですね、最低限備えるだけの食料ですとか飲料水とか携帯用トイレとか万一のために備えて頂けたらなという風には思っております。そういう意味で区でも啓発をしながらですね、そう言った有事の際にあまりお困りにならないような形で対応はしていきたいなどは考えております。

○山岸部会議長 ありがとうございます。他にご意見ございませんでしょうか。

○羽東委員 女性会の羽東と申します。よろしく願いいたします。やっぱり、開発とかを見るとね、年配の人がね、目の前にいる、目の前にするものがね、全てなんですよ。だから変わっていくことが楽しくってワクワクしてくる。弁天町がこう変わっていくんや、こんななっていくんやねって。ここにも何かできるみたいよ。そういう楽しいことをたくさん発信して、わかるようにして行って頂きたいなどは、思っております。はい。

○山岸部会議長 ありがとうございます。

○羽東委員 いえいえ、あんまり大した意見ではございませんが。失礼します。

○山岸部会議長 では、先ほどちらっと目があって、すいません。ぜひ伺いたいなど。中西さん、お願いします。

○中西委員 すいません、八幡屋の中西です。市岡商業跡地で、続けて行う行事ではないんですけど、大阪市では年に1回、大きい防災訓練されて、寒いなかされてるんですけど。市岡商業跡地でも港区の、防災リーダーなりの合同の訓練とかをやったり。まあそこに、例えばお祭りじゃないですけど、設定をしてて、色んな人が来られてます。その時に地震が起きました、じゃあここで皆どういう風に分かれて逃げていくとか、そこで皆で避難するとかっていう形の設定しながら、防災訓練とかをやってみるのはどうかなっていうのを思ったんですけど。以上です。

○山岸部会議長 ありがとうございます。

それもね、先ほど外国の方って言いますか、いろんな方に防災訓練を一緒にするというのはとてもいい案やなと思います。実際、できるかどうかわからないですけども、そういうご意見があればね、ひょっとするとまたね、そういう機会を考えて頂けるかもしれないので。はい。ありがとうございます。

他に今までのお話を聞いて頂いて何かございましたら。では、こちらの方で。こちら議員さんのご意見は全て伺いましたので、オブザーバーで聞いて頂いている方にもご意見頂ければと思うんですけども、いかがでしょうか。

○谷口(警部補) 港警察の生活安全課の谷口といいます。すいません。オブザーバーという立場でちょっと来させてもらって、港区の貴重な意見を聞かせて頂いて、ほんまにちょっと自分の中でも客観的な主観で見てしまって、申し訳ないんですごいなって思いました。いつも警察署の捜査するなり、防犯的な立場で格闘はしてるんですが、こういう皆で意見交換する機会ってあんまりないので、区民の治安を守るためにも、こういった代表的な意見を各委員さんから聞けて、今後の治安の維持に役に立てるかなというのが自分の意見となります。すいません、こんな意見で申し訳ないです。すいません。

○山岸部会議長 ありがとうございます。

では、もうひとかた。ウェブの方でご参加頂いてます牧野さんにもご意見聞けるのでしょうか。もし聞くことができたら、伺いたいと思いますけどもいかがでしょうか。

ありがとうございます。文章で頂いてますね。画面も変わりました。

○牧野貢消防司令 チャットに入れましたけど。

○山岸部会議長 そうですね。はい、今こちらのほう、画面確認しました。防災リーダーは訓練のほうで頑張ってくださいということで、今見させて頂きました。ありがとうございます。

時間も、すいません、大分きましたけれども。それでは他に意見もたくさん皆さんから伺いましたので、今日はありがとうございます。それでは、運営の方また、進行のほう、区役所さんのほうに戻したいと思います。

○岡添エリア開発推進担当課長代理 はい、山岸議長、議事進行ありがとうございます。委員関係者の皆様の円滑な対応にご協力頂きましてありがとうございます。活発にご意見頂いて、今後区政の節々で、色々な活用をしてまいりたいと思っております。また委員の皆様には、すでにご案内申し上げます通り、7月11日木曜日午後7時より同じくこの場所におきまして、港区区政会議の全体会の方を開催させていただきます。またお忙しいところ恐縮ですが、ご出席くださいますようお願いいたします。なお、本日使用しました資料につきましては、全体会の方でも使用したいと思っておりますので、お手数ですがご持参頂きますようお願いいたします。それでは、時間も参りましたので、これもちまして、令和6年度第1回港区区政会議安心安全・まちづくり部会のほう、終了させていただきます。本日はありがとうございます。